

心理職の国家資格の展望と課題

—医療・保健、福祉、教育・発達、司法・矯正、産業等の汎用的資格、
“scientist-practitioner”モデル、および心理職間の連携の意義—

＜日時＞2013年3月15日（金） 10時-12時

＜会場＞明治学院大学白金キャンパス 3201教室

〒108-8636 港区白金台1-2-37

アクセス：JR品川駅から都バス「目黒駅」行きに乗車6分「明治学院前」下車、JR目黒駅から都バス「大井競馬場前」行き乗車6分「明治学院前」下車 <http://www.meijigakuin.ac.jp/access/>

＜主催・企画＞日本発達心理学会、一般社団法人・臨床発達心理士認定運営機構、日本臨床発達心理士会

＜研修ポイント＞臨床発達心理士会資格更新研修会：2時間0.5ポイント
【(1)区分研修会】（資格更新ポイントを希望の方は大会参加手続き（当日可能）を取り参加費を支払い、ポイントノート・IDカード等を御持参ください）

＜定員＞500名（当日参加のみです。予約は行いません。）

＜参加費＞無料（但し、研修ポイントとする人は大会参加費が必要です。）

【司会】長崎 勤（一般社団法人・日本臨床発達心理士会幹事長、日本心理学諸学会連合監事）

【挨拶】

◎河村建夫（自由民主党「心理職の国家資格化を推進する議員連盟」代表、元文部科学大臣）

◎林 道彦（公益社団法人・日本精神科病院協会常務理事、朝倉記念病院・理事長）

◎久保千春（社団法人・日本心身医学会理事長、九州大学病院・病院長）

◎村瀬嘉代子（一般財団法人「日本心理研修センター」設立準備委員会代表、一般社団法人・日本臨床心理士会会長）

【話題提供者】

●鶴 光代（一般社団法人・日本心理臨床学会理事長、日本心理学諸学会連合副理事長）

●上野一彦（一般社団法人・日本LD学会理事長、日本心理学諸学会連合常任理事・資格委員会委員長）

●子安増生（日本発達心理学会理事長、日本心理学諸学会連合理事長）

【指定討論者】

●石隈利紀（日本学校心理士会会長、日本心理学諸学会連合常任理事・教育委員会委員長）

●下山晴彦（一般社団法人・日本心理臨床学会副理事長、日本心理学諸学会連合理事）

【企画趣旨】この間、臨床心理職国家資格推進連絡協議会（推進連）、医療心理師国家資格制度推進協議会（推進協）、日本心理学諸学会連合（日心連）の「三団体」によって心理職の国家資格化が検討され、その実現の可能性が見えてきました。この心理専門職の特徴は、医療・保健、福祉、教育・発達、司法・矯正、産業等の実践諸領域における汎用性のある資格とすることであり、養成カリキュラムとしては、研究成果に立ち、高度の臨床・実践的スキルを有することを目指す“scientist-practitioner”モデルを提案していることです。

どのような国家資格となるかは、50年、100年先の今後の日本の心理学界全体の発展に大きな影響を与えます。そこで、様々な心理資格の関係者が集い、この間の資格検討の経緯を報告すると共に、国家資格化の短期的、長期的な課題について検討したいと考えます。

【問い合わせ先】

日本発達心理学会事務局 E-mail office@jsdp.jp

